

特権ID管理+操作記録で不正使用を防止! 安全・安心な環境を!

【特徴と概要】

お客さまシステムの特権ID（管理者権限）にかかるリスクを低減
システム操作・操作環境を記録し不正操作のリスクを低減

特権IDの 不正使用を防止

ポリシー、パスワード、SAML^(*)認証
により特権IDのアクセスを制御

*Security Assertion Markup Language

- 多様な要件に基づくポリシー制御
- パスワード制御
- SAML認証制御
- 多要素認証による本人確認
- 広範なシステムを管理可能
- 特権IDの不正アクセス検知

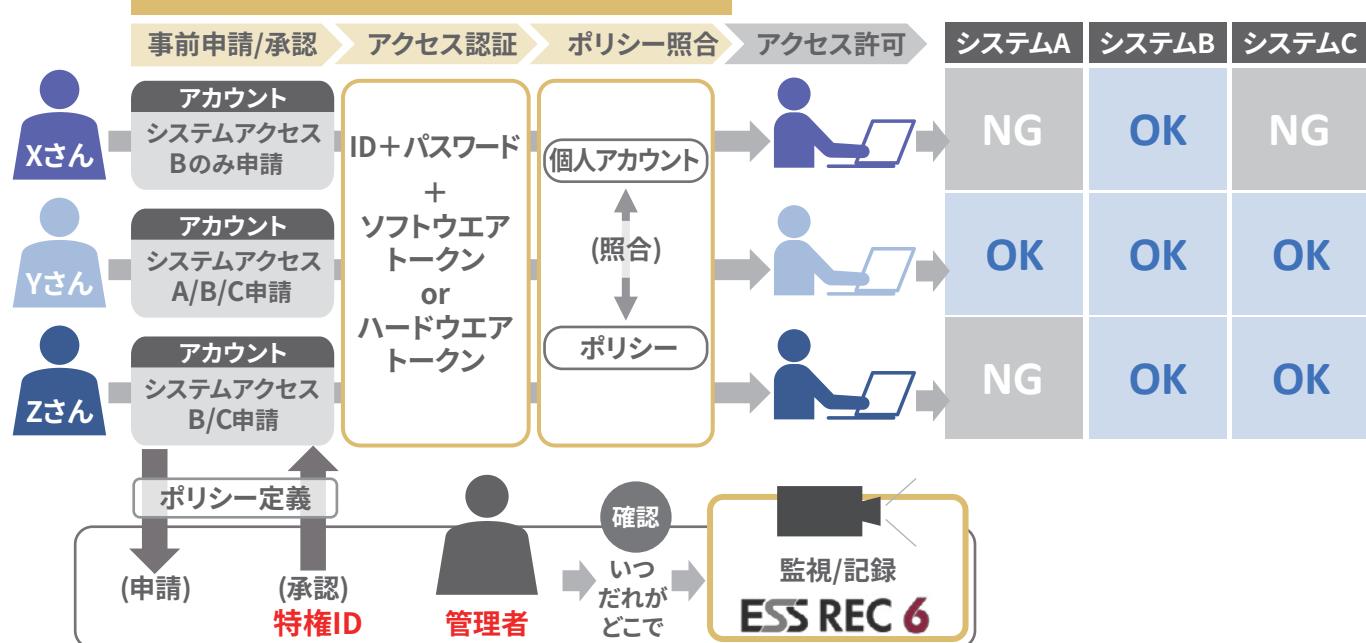
システム操作を記録し 不正使用を防止

操作内容・操作環境を記録
デスクトップ画面・テキスト情報から
不正を検知

- システム操作内容/環境の監視と記録
- 視覚的に分かる検知ルールとアラート発報
- 監査レポートによる俯瞰（ふかん）的なチェック
- 管理サーバーによる効率的な運用

【特権ID管理および機能概要】

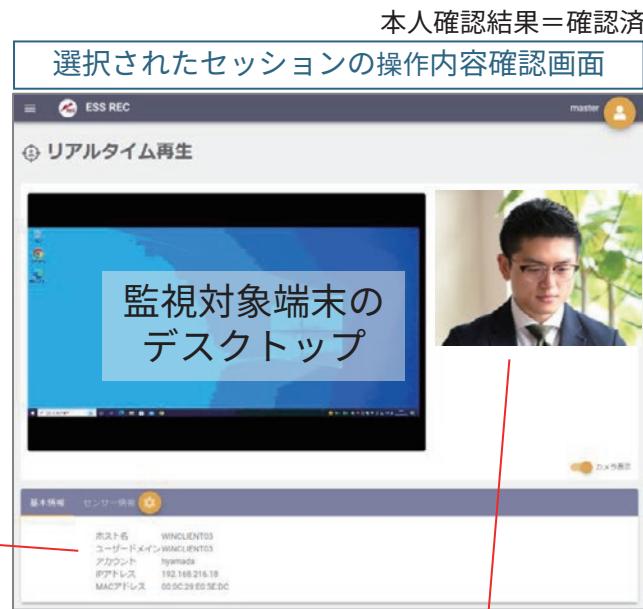
ESS AdminONE



【録画機能詳細】

ESS REC管理画面では、現在監視・記録中のセッション一覧を表示。

監視対象のセッションを選択すると、該当セッションのデスクトップ画面やカメラ映像を確認することが可能。



【お客様のメリット】

- (1) ユーザーとシステムアカウントをひもづけて利用制限が可能
- (2) 定常アクセス許可のユーザーを時間帯指定で利用制限が可能
- (3) 申請・承認しなければ利用できない強力な統制が可能
- (4) ESS AdminONE、ESS RECを連携させることで、特権IDの貸出一覧とひもづけてシステム操作の参照が可能

導入Case1

課題 高度なセキュリティ要求に合わせ、特権ID管理や証跡取得を強化したい

解決 多様な特権IDは、新たなシステムではESS AdminONEによって一元管理
ESS AdminONEの作業申請ワークフローで許可を得た作業者のみが、
一時的に貸与された特権IDで作業を行う運用となった

導入Case2

課題 働き方改革・業務効率化のため、他拠点・在宅からセキュアにリモートアクセスできる環境を整備したい

解決 アクセス元の環境にかかわらずアクセス制御が可能になるとともに、作業ミスがあったときも証跡が残っているため速やかに原因を特定できるようになった

株式会社 日立システムズエンジニアリングサービス

お問い合わせは

本社：〒220-8132 横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー32階
www.hitachi-systems-es.co.jp



※本カタログに記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

※本カタログに記載されている内容、仕様については、予告なく変更する場合があります。

※本製品を輸出する場合には、外国為替および外国貿易法ならびに、米国の輸出管理関連法規などの規制を御確認の上、

必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社営業にお問い合わせください。